

Voice

ヴォイス
第11号

大分県立芸術文化短期大学 サービスラーニング公式新聞

第11号/発行 2015年3月20日

学んだことを地域で活かす、地域で活動する事で学びの意味を考える
サービスラーニング



ギネスに挑戦！アーツネイクプロジェクト

竹と紙を使って世界一長いアーツネイクを作るプロジェクトの中心となって参加しました。大分県内の様々な場所へ赴き、ワークショップを開催。来場者の想いをハートの紙に自由に描いてもらいウロコとして貼っていきました。2014年11月30日に大分市竹町商店街でジョイントセレモニーが行われ、151.33mの長さのヘビを300人を超える人たちが100m以上担いで動かし、ギネス記録『最も長い祭り用のベビ』に認定されました。

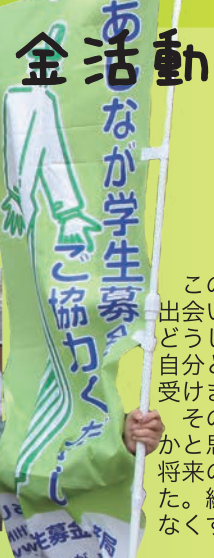
2014年度サービスラーニング活動報告

本年度は大小合わせ全50種類のイベントや地域活動に参加しました。今年度の特徴は、一つの目標を立てて活動するような長期的なプロジェクトが増えてきたこと、大分だけでなく臼杵や佐伯など学生の出身地で取り組むプロジェクトが立ち上がってきたことが特徴といえます。学生達がプロジェクトを自ら考え活動する、自主性や主体性が強くなってきたように思われます。

本学ではサービスラーニングを全学科で単位化し実施しています。このサービスラーニングでは地域活動を行うだけでなく「活動の意味を学ぶ」「更なる活動を考える」「活動を発信し伝える」ことを一連のプロセスとし、体験をスキルに変える能力育成を行っています。サービスラーニングは『教育』であり、単なる『ボランティア』とは違います。

4月10日 あしなが学生募金活動

あしなが学生募金活動は遺児の進学支援を行っている国内最大の募金活動です。44年の歴史があります。毎年、春と秋に大分市と別府市で街頭募金を行っています。遺児に限らず、県内のたくさんの大学生や高校生が参加し募金の呼びかけを行っています。



この活動を通して、初めて遺児と呼ばれる学生たちと出会いました。お金がない、親がないという個人ではどうしようもない理由で進学の夢をたたれる学生たちが、自分と同じ学生たちの中にいるということにショックを受けました。その中で、自分も立ち上がりたい、出来ることはないかと思い2年間この活動を行ってきました。将来の進路や夢もこの活動を通して改めて見えてきました。編入後も社会福祉を学び、将来的に日本から貧困をなくすよう活動していきたいと思っています。

情報コミュニケーション学科 2年 山口奏子

将来の夢が見えてきた



今年で5回目となる学生フェスタ。中心市街地の活性化を目的に、学生を中心に、手作りで作り上げるイベントです。3000個の紙コップにロウソクを灯すキャンドルナイト、カフェ、ステージイベント、世界一小さな花火大会等を行いました。

5月 府内五番街学生フェスタ



通年 おおいた学生ネットワーク

大分青年会議所のメンバーと学生が共に大分の活性化を目的に様々な企画を行う団体です。定期的に社会人の方々との会議を重ね企画を進めていきます。私たちは、この団体の一員として、8月『七夕ロードウェイ』、10月『おおいた夢色音楽祭』、11月『子ども職業体験わくわくワークランド』の3つの活動を行いました。



毎年七夕ロードウェイでは一万個の風船を膨らませて夜空に放っていますが、今年は更に、「恋するフォーチュンクッキー」でフラッシュモブを行い、前年よりも盛り上がったように思いました。3つのイベントを通して、幅広い年齢の人と関わることができ、貴重な体験になったと思います。自分たちから進んで行動する事が大切さを学びました。今後このような活動が続いてほしいし、地域のみなさんから愛されるイベントであってほしいです。

情報コミュニケーション学科 2年 山内志織 福留彩

進んで行動する大切さ

通年 森林セラピー事業

森林セラピーとは森林環境を利用して心身の健康維持や病気の予防を行う、医学的な証拠に裏付けされた森林浴です。大分市の産業振興課の方と共に大分市の魅力創出事業として取り組んでいます。



森林セラピーヨガやトレイルランニング、森の中学校など自然や森を楽しんでもらうイベントのお手伝いをしました。また、森林セラピーロードのマップ製作・ピクトグラム製作・森林セラピースイーツ製作に取り組みしました。



本来ならば、3泊4日なのですが、昨年は台風の影響で1泊2日となりました。私は、キャンプの運営を補佐する指導員として参加しました。異年齢の集団の中で調理とキャンプファイヤーを行いました。キャンプを通じて、コミュニケーションの大切さ、子どもたちと指導員の青年同士の結束力の大切さ、自然に直接触れることの大切さを学びました。学校以外での野外活動の楽しさや素晴らしさ、人とのつながりを感じることが出来たと思います。また、子どもたちが数日間親から離れて集団生活をする事によって、親のありがたさや存在の大きさを知ることができ、自立への第一歩になるのではないかと考えました。

情報コミュニケーション学科 1年 神野千聖・中野華純

8月 こども劇場キャンプ

子ども劇場は、おおいた子ども劇場が主催で毎年8月に行われています。青年たちは6月から全5回のキャンプ会議を行いキャンプの運営や当日の子どもたちのリーダーとして参加しています。



※大分子ども劇場とは…子育て中のお母さんや子どもの文化に関心のある人たちが集まり運営している非営利の文化サークル

人とのつながりを感じる

7月 鶴崎清正公二十三夜祭

加藤清正公の命日に供養のため毎年鶴崎地区で行われているお祭りです。毎年将校青年部の皆さんと共に祭りの運営のお手伝いをしています。また、芸短生独自で東側ステージ・ワークショップ・エコステーションを企画運営しています。今年は美術科の学生によるライブイベントや鶴崎踊りを取り入れる等、新しい挑戦も続けています。毎年約50名の学生が参加しています。



うすきレボリューション情報発信

通年

白杵出身の学生3人で白杵を盛り上げる「白杵盛りあげ隊」をつくりました。生まれ育った白杵市をよりいっそう活気のある街にするためにはどうすればよいのか？を考え、その結果大学で行ってきた地域活動や、facebookといったSNSでの情報発信をしてきたことを活かし、白杵市でも地域活動や情報発信をすることにしました。

白杵の魅力もっと伝えたい！！



まず「Usuki☆revolution (うすきレボリューション)」というfacebookページを自分たちで作成し、白杵で行った地域活動の様子や白杵市の風景等について投稿してきました。その後、うすき地撮り大会やデジタルものづくり講座 in 白杵、アースネイク製作ワークショップ、白杵の地域おこし協力隊の方々と一緒に上北小学校土曜ふれあい学級でライトペインティング、など様々なイベントを行いイベントの様子を情報発信してきました。

全ては「白杵市について知らない人に、歴史や魅力を知ってほしい…」という思いからです。今後も後輩達に引き継いでいってほしいです。

情報コミュニケーション学科 2年 佐藤暉海・藤沢陽子・竹尾菜由

国際車いすマラソンボランティア

11月



毎年大分で行われる車いすマラソンでは、多くの外国人選手が来日します。国際総合学科の学生が語学力を活かし、海外選手の滞在サポートや通訳のボランティアを行いました。



なかもの映画祭

← 11月 8, 3月 →

日韓次世代映画交流

まちなかTVサークルメンバーがメインとなって大分市で映画祭を企画。大分にゆかりのある映画監督やゲストを招き、手作りの映画祭を行いました。ゲストの出演や上映作品の交渉なども学生たちが行いました。

韓国と交流の深い先生のもと、毎年行われてきた日韓次世代映画交流。夏にはソウル芸術大学の学生がたちと共に映画製作を行ったり、3月には別府で『別府日韓次世代映画祭』を行いました。



通年

竹田情報発信事業

竹田市とは6年前からサービラーニングを通じて深い交流を行ってきました。活動内容は、竹田のイベントのお手伝いやFacebook・Twitter・ホームページでの情報発信をしています。



農家民泊・とうきびフェスタ・巨大壁画制作・地撮り大会など1年を通して様々な活動に参加や企画をしてきました。

その中には、たとえば竹楽があります。竹楽は竹田のメインイベントとも言える大きなイベントで、開催中の3日間に10万人以上の人が訪れます。竹灯籠の灯りでまちなかは幻想的な雰囲気になります。竹楽は里山保全の一環として行われており、綺麗だけではなく環境のことも考えられたイベントです。私たちは竹灯籠を並べる作業や、露店の呼び込みの手伝いをして、地元の方々の想いや活動を発信しました。

活動を通して竹田の街に学生が行き交うことと、地元の方々が喜んでくれていると聞きました。その事も、私たちの活動の意味ではないかと思えます。これから後輩たちに期待することは、地域の方々ともっと交流してほしいと思えます。交流を通して街の人達の声を聞き、より良い活動にしてほしいと感じます。

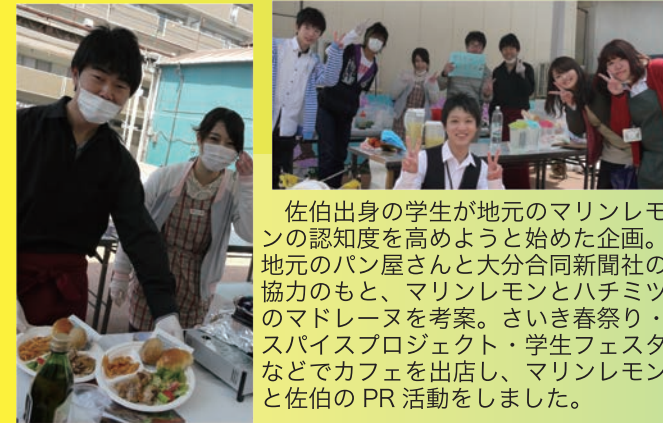
情報コミュニケーション学科 2年 安達仁美



地元の方との交流が大事

佐伯まち coler カフェ

4月 11月



佐伯出身の学生が地元のマリンレモンの認知度を高めようと始めた企画。地元のパン屋さんと大分合同新聞社の協力のもと、マリンレモンとハチミツのマドレーヌを考案。さいき春祭り・スパイスプロジェクト・学生フェスタなどでカフェを出店し、マリンレモンと佐伯のPR活動をしました。



赤い羽根ボールペン応援プロジェクト

10月 ~ 12月

赤い羽根共同募金会と本学のコラボレーションでオリジナルボールペンを作っています。美術科の学生によってデザインされたボールペンを、PRや販促活動をして募金額アップを計ろうと結成されたのがこのプロジェクトです。主に国際総合学科と情報コミュニケーション学科の学生が活動しました。



赤い羽根共同募金とは、地域をよりよくする為や、災害が起こった際の備えとして使う寄付金を募るものです。このことを踏まえて私たちは「赤い羽根共同募金プロジェクト」を立ち上げ、会議を行い、「どのようにPRすると良いか」や「どの活動に参加するか」等話し合いました。また、PRしやすくするために大きなボールペンを学生に作ってもらい、このプロジェクトをより多くの方に知って頂けるようにしました。準備を経て、イベントに参加して寄付金を募ったり、記者会見でPRをさせて頂いたり、お店の店頭で置かせて頂くなど、さまざまな活動を行ってきました。この活動を通して私たちは「人の温かみ」を知ると同時に、「何かを一から作り上げることの難しさ」を学びました。地域の方と触れ合い、普段できない色々な経験を積むことができたことは、これからの私たちの人生の糧になると思っています。

情報コミュニケーション学科 1年 首藤遥香・寺次真紀

サービスラーニング2014年度1年間の活動

- 4月 学生カフェレストラン in 佐伯
大分サルー祭りお手伝い
あしなが学生募金
iichiko グランシアタジュニアオーケストラサポート (毎月)
府内学生フェスタ準備開始
アースデーおおいた
上野の森の会 (毎月)
大分活性化ネットワーク活動会議 (毎月)
- 5月 森林セラピー高崎山セラピーロード山開き
佐賀関樺木山の山開き
はちみつプロジェクト採蜜
鶴崎清正公二十三日夜祭活動会議 (毎週)
竹田でアート巨大壁画制作
大分青年会議所5月公開例会: 絆キッチン
AQUA ソーシャルフェス: 冷川周辺
- 6月 子どもキャンプ指導員講座 (全5回)
竹田情報発信事業: 岡城址草刈り作業と魅力学習会
府内学生フェスタ
ギネスチャレンジアートスネイクプロジェクト始動
AQUA ソーシャルフェス: 磯崎海岸
二十三日夜祭国道1番予選会
地球の小さな田ノ口田植え体験
- 7月 清正公二十三日夜祭現地視察: 現地視察
保戸島夏祭り
木佐上コガネグモ選手権
- 8月 竹田農家民泊
竹田市とうきびフェスタ in 菅生
清正公二十三日夜祭
つばさ学園療育ボランティア
サイバー防犯ボランティア (定期的に活動)
大分七夕祭り「府内戦紙」
大分七夕祭り「七塔プロドウェイ」
夏祭り浴衣でお出迎え (竹田)
中央子どもルーム託児お手伝い・ワークショップ
子ども劇場キャンプ
日韓短編映画制作交流
- 9月 アートスネイクワークショップ in 芸文短大
竹田楽市楽座アートスネイクワークショップ
竹田新能
中央子どもルーム託児お手伝い・ワークショップ
- 10月 大分ケーブル番組制作補助 (~3月)
赤い羽根ボールペン応援プロジェクト会議 (毎週)
おおいたスポーツ広場 2014~トップアスリートといひ汗流そう~
おおいた夢色音楽祭 2014
白杵盛り上げ隊フェイスブックミーティング
佐伯スライスプロジェクト (学生カフェ他)
森林セラピー森の音楽祭
NPO お母さん広場: 託児ボランティア
アートスネイク製作ワークショップ
秋期あしなが学生募金
鉄道残存活用会議 (毎月)

- 11月 白杵地撮り大会
大分国際車いすマラソン
森林セラピースーツコンテスト
文具フェスタ: 赤い羽根ボールペン応援活動
クリーンアップ・明野歩こう会
NPO お母さん広場: 託児ボランティア
竹田『楽市楽座』お手伝い
あしなが学生Pウォーク
わくわくワークランド
竹田竹楽
アートスネイクジョイントセレモニー
小ちゃん田ノ口稲刈り収穫祭
コンパルホールライトペインティング
森林セラピー: 現地調査・鏡頭作り
わかもの映画展
- 12月 森林セラピー森の中学校
森林セラピービクトグラムとマップ製作開始
竹田地撮り大会
竹田ちゃんぽん発表会
ハートオブクリスマスお手伝い
クチナシの実収穫作業
竹田地撮り大会
子どもルームお手伝い・餅つき大会
- 1月 府内南蛮ライティング
森林セラピー平成森林公園周辺の調査
- 3月 森林セラピートレイルラン撮影
iichiko グランシアタジュニアオーケストラ

2014年度地域活動フォーラム

2015年1月13日・20日 会場: 本学大講義室

毎年1月に、各活動の学生代表によって、今年度の活動報告発表会を行っています。今年も、高校生や一般の方々のべ62名にご来場いただきました。

大分鶴崎高等学校: S.Eさん 『先輩の姿はかっこいい』

発表を聞き率直に、地域に貢献している先輩方の姿はこんなにかっこいいんだなあ、と感じました。1つ1つ小さな作業でも、誰かを思いながら心のこめることで、地域を活性化できる、1番大切なことは、「心と心のコミュニケーション」なのだとは学ばせて頂きました。活動をふりかえり、反省点を見つけ、改善策も提示して頂いたのが次は私たちが、さらに良い活動となるよう、行動していきたいです。

自分が

考えていたよりも特色のある活動がたくさんありびっくりしました。そして、そのどれもが地域との距離が近いと感じました。イベントの様子の映像では、本当に楽しそう、入学が楽しみになりました。そして、学生さんが主体となって活動しているので、自主性がきたえられると思いました。私も、自ら動いていく力をサービスラーニングを通してつけていきたいと思いました。

『入学が楽しみになった』

クラーク記念国際高等学校: C.Sさん

大分市: 和歌宏文さん 『社会に出れば必ず役立つ』

参加する立場になるのか、主催する立場になるのか、本人次第と感じました。報告にあった活動はどれも、社会に出れば必ず役に立つこと、もっともっと積極的に参加する学生が増えれば良いと思います。活動の目的は何か? 現状の把握をしっかりとすればもっと良い活動が生まれると思います。

学生が主体的に活動し、経験を通じて感じたことを伝えようとする姿が印象的でした。不慣れた発表という場でも、精一杯に発信しようとしている気持ちが伝わりました。活動を通して得た知識や感想をフォーラムで発信する事は、発表する学生にとっても新たな気づきを得られる事につながり、とても重要だと思います。是非このフォーラムを継続して頂きたいです。

『新たな気づきをえられる』

大分青年会議所: 奥田克也さん

◆発表者◆あしなが学生募金活動: 山口奏子・宮永祐希・松田弓・森林セラピー事業: 町田七海・大土由貴・森彩奈、府内学生フェスタ: 安部沙織・松浪由佳、まち color カフェ: 安部祐也、鶴崎清正公二十三日夜祭: 吉田彩乃・木下久美子、うすきレクリエーション情報発信: 佐藤瞳海・竹尾菜由・藤澤陽子、竹田情報発信事業: 安達仁美、おおいた学生ネットワーク: 山内志織・福留彩、赤い羽根応援プロジェクト: 首藤遙香・寺次真紀、わかもの映画祭: 三代朱音、日韓次世代交流: 能勢麻里子、子どもキャンプ: 神野千聖・中野華純、国際車いすマラソン: 池原あきの・久網彩弥加

本誌は、フォーラムの報告を基に作成しています。



最新情報 check!!

「たけたみつけた」
<http://cis.oita-pjc.ac.jp/taketa/index.html>

「たけたみつけた」
<https://ja-jp.facebook.com/taketaageibuntandaikouryuu>

「森林セラピー大分市芸文短大連携事業」
<https://ja-jp.facebook.com/Sinrintherapygeibuntandai>

「おおいた活性化ネット芸文短大」
<https://ja-jp.facebook.com/ooitakasseikanet>

「大分まちなかTV」
<https://www.facebook.com/13yatv>

「Usuki revolution」
<https://www.facebook.com/usuki.revo.commu>

「赤い羽根ボールペン応援プロジェクト」
<https://www.facebook.com/geitanakaihane>

「おおいたギネスに挑戦アートプロジェクト」
<https://www.facebook.com/oitaguinnessartproject>

Voice



大分県立芸術文化短期大学 サービスラーニング公式新聞

〒870-0083 大分市上野丘東1番11号 大分県立芸術文化短期大学
tel.097-545-0542 (代表) / fax.097-545-0543
□<http://oitapc-cis.jp/> □syuto@oita-pjc.ac.jp (地域活動室)